
NiRRで始めた機関リポジトリ

新潟医療福祉大学図書館 星名孝修

hosina@nuhw.ac.jp

新潟青陵大学図書館 高野 聡

takano@n-seiryu.ac.jp

研修会開催目的から

- ▶ 機関リポジトリを始めて間もない・始めようとしている・始めようかどうか迷っている機関やその担当者を対象に…

本県、本学も同じ



- ▶ 担当者が抱えているさまざまな**疑問**や**不安**を解消し、埼玉県内における機関リポジトリの普及と共同リポジトリの発展の機運を醸成…

本日は勉強しに
来ました

本日は話すこと

▶ 新潟県地域共同リポジトリについて

NiRR: Niigata Regional Repository (ニール)

▶ 経緯

▶ 現状(概念、機能、統計など)

▶ 課題(期待すること)

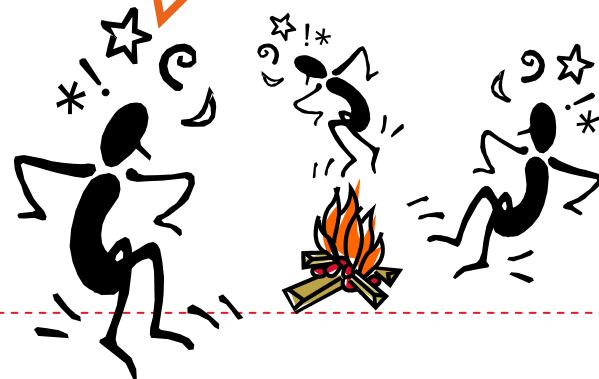
▶ 機関リポジトリ導入の意義と効果

▶ 共同リポジトリ参加の意義と効果

▶ 個別事例

▶ 最後に

できれば皆さんの
心に**火**をつけること
が出来ますように



新潟県の状況

- ▶ **大学進学率47.2%全国29位**
 - ▶ 実学志向、大学収容率の低さ・・・などが要因
- ▶ **高等教育機関数23**
 - ▶ ここ10年で6校新設
- ▶ **人材流出の状況**
- ▶ **各種連携の動き**
- ▶ **新潟県大学図書館協議会**

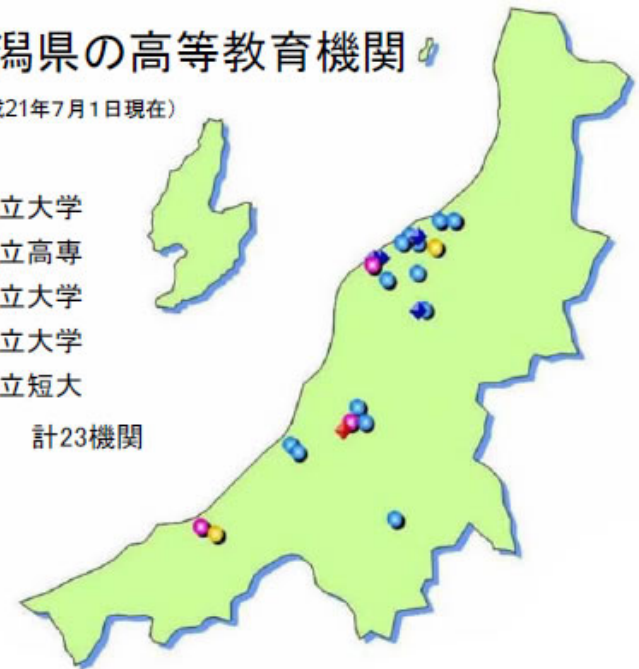
県内他大学と連携しつつ図書館として新しいことに挑戦していかなければいけないという危機意識

新潟県の高等教育機関

(平成21年7月1日現在)

- 国立大学
- ◆ 国立高専
- 県立大学
- 私立大学
- ◆ 私立短大

計23機関



新潟県大学図書館協議会

- ▶ 新潟県大学図書館協議会(以下:新大図協)
 - ▶ 通称ALAN(Academic Library Association of Niigata)
- ▶ 1995(平成7)年設立
- ▶ 新潟県内の各図書館が連携協力し、利用者サービスの向上や情報の電子化による社会への情報発信を目指す
- ▶ 相互協力協定、災害時の協力協定
- ▶ 現在加盟大学23館 年1回の総会と研修会
- ▶ 国立3校、国立高専1校、県立2校、私立13校、短大4校
- ▶ 2009(平成21)年に15回目の総会を実施し、共同リポジトリ部会が発足
- ▶ 共同リポジトリ部会には部会長館の新潟大学を含めて10大学が参加

- ▶ 協議会専用HP <http://www.lib.niigata-u.ac.jp/ALAN/index.html>
- ▶ 県内大学図書館横断検索
- ▶ スタッフ専用ページ(平成20年度完成)

NiRRサービス開始までの経緯

| | 新大ならびに新大図協 | 新潟医療福祉大学 |
|-----------|--------------------------------------|--|
| 2006年7月 | 紀要の電子化と絡んでIR言及 | |
| 2007年5月 | 新潟大学学術リポジトリ(Nuar)運用開始 | |
| 2008年7月 | 協議会HPの作成の発展系として提案 | |
| 2008年9月 | | 図書館委員会での7月総会での 話題を提供 |
| 2008年11月 | 協議会研修会学術リポジトリがメインテーマ | |
| 2008年11月 | | 図書館委員会での説明(承認) |
| 2008年12月 | | 学会誌編集責任部署(学術委員会)にて、リポジトリの説明とコンテンツ搭載の打診 |
| 2008年12月 | 平成21年度CSI事業 2009.7-2010.2 | 学術委員会委員長へ試験データ提供のお願い(既成事実) |
| 2008年12月 | | NIIへデータ提供依頼 |
| 2009年1月 | | 新大へ試験データ提供 |
| 2009年4月 | 試験運用公開 | |
| 2009年7-8月 | 総会協議事項 新潟県地域共同リポジトリ正式認可 | NIIポータル担当者研修に職員派遣 |
| 2009年10月 | 第2回部会開催 | |

平成20年度CSI事業
2008.8-2009.2

平成21年度CSI事業
2009.7-2010.2

▶ 2009/10/15 埼玉県地域共同リポジトリ実務研修会

新潟大学CSI事業(領域1)について

「学術機関リポジトリの構築とコンテンツの拡充」

平成20年度(2008.8-2009.2)

【目的・内容】

- ▶ 新潟大学学術リポジトリ(Nuar)のさらなる発展
- ▶ 新潟地域固有テーマに関するコンテンツの収集
- ▶ **地域共同リポジトリ発足ための支援**

【実施計画】

- ▶ 新潟地域共同リポジトリのための**ソフトウェアの改修**
- ▶ **独自の機関リポジトリの構築が困難な機関への搭載支援**

【成果】

- ▶ **ソフトウェアの改修完了**(物理サーバ1にサーバソフトウェア2。新大リポジトリ用と共同リポジトリ用を搭載)
- ▶ **共同リポジトリへの試験データ搭載(4大学)、試験運用開始**

平成21年度(2009.7-2010.2)

【目的・内容】

- ▶ 新潟大学学術リポジトリ(Nuar)のさらなる発展
- ▶ **新潟県地域共同リポジトリの正式発足**
- ▶ **新潟地域固有テーマに関するコンテンツの収集**

【実施計画】

- ▶ 共同リポジトリの正式発足と拡充のための広報とサーバカスタマイズ

【成果】

- ▶ 平成21年7月:**正式発足 部会設置** 研修会開催(予定)
- ▶ 2009/10/15 埼玉県地域共同リポジトリ実務研修会

「佐渡」、「朱鷺」、
「中越・中越沖地震」
など



NiRR概念図

新潟大学等

メタデータのみ登録

新潟大学学術リポジトリと同一サーバ内を論理的に分けて運用

新潟県大学図書館協議会加盟機関

県内図書館

県内研究機関

論文など学術情報の登録

新潟地域に固有な研究テーマに関する学術情報を世界に発信する。

The screenshot displays the NiRR (Niigata Regional Repository) website. At the top, the logo and name '新潟県地域共同リポジトリ NiRR: Niigata Regional Repository' are visible. Below this, there is a search bar with a '検索' (Search) button. A red arrow points to the search bar area with the text 'メタデータのみ登録' (Metadata only registration). The main content area shows a list of search results under the heading '最近登録された研究成果' (Recently registered research results). The results include titles, authors, and publication information. A globe icon is positioned to the right of the screenshot, and a server tower icon is positioned to the left.

NiRRのシステム構成と機能

| | |
|---------------|---|
| システム | DSpace(NALIS-R NTTデータ九州) |
| 構成 | OS:RedHat Enterprise LinuxES Webサーバ:Apache+Tomcat 言語:JAVA VM DB: Oracle |
| 基本機能 共同用機能 | 一括登録、一括出力 + 一括更新 雑誌タイトルごとの巻号一覧、巻号ごとの論文一覧の表示 学内のみ公開の指定 BaseURLは各機関が保持。 各機関単位で以下が可能。 ・TOP画面構成 ・コミュニティ・コレクションの選択 ・ハーベスターの選択 |
| 未完成部分 | 各機関単位の詳細な統計分析機能 カバーページ 各機関用管理IDの発行 Handle機能反映? CiNii-IR連携の実現 |

NiRRの状況

新潟県の高教育機関

(平成21年7月1日現在)

- 国立大学
- ◆ 国立高専
- 県立大学
- 私立大学
- ◆ 私立短大

計23機関



●新潟県大学図書館協議会
加盟館23機関のうち4機関
がデータを登録。

総登録件数 7,232件
(2009年10月1日現在)

新潟大学



新潟医療福祉大学



新潟青陵大学 新潟青陵大学短期大学部



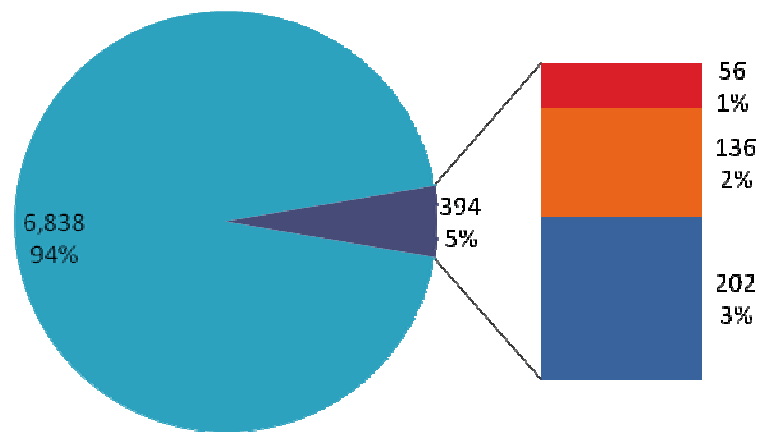
長岡工業高等専門学校



NiRRのコンテンツ

新潟県地域共同リポジトリコンテンツ数

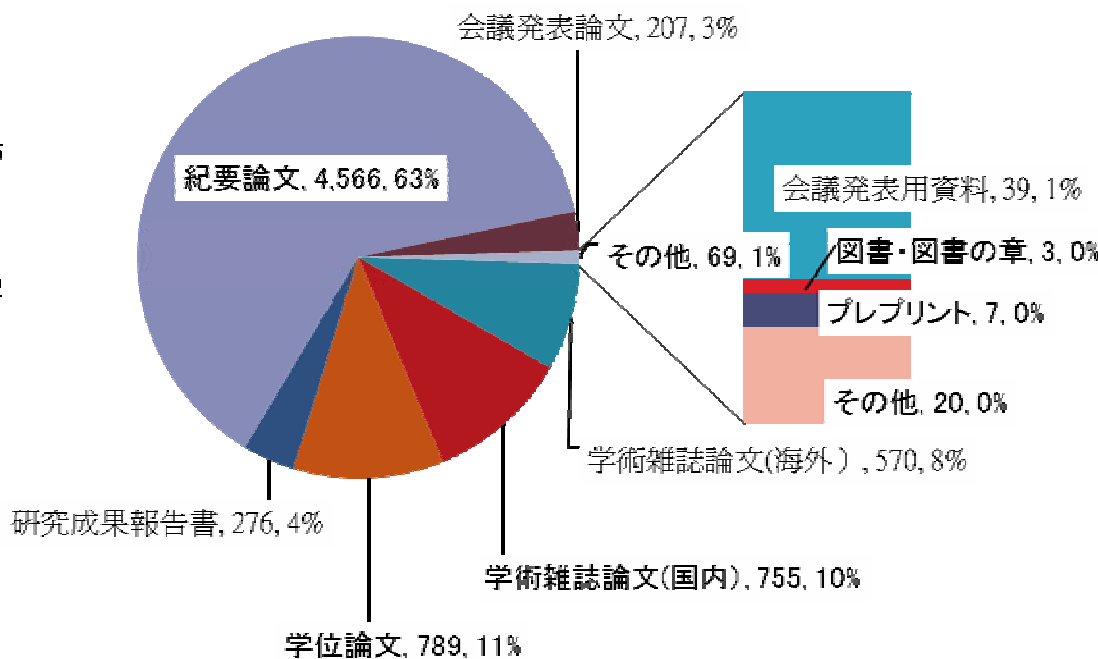
2009.10.1現在



- 新潟大学
- 長岡工業高等専門学校
- 新潟青陵大学
- 新潟医療福祉大学

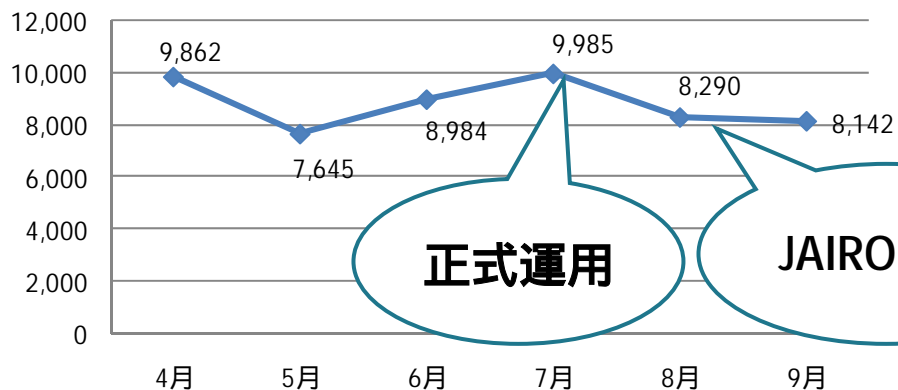
新潟県地域共同リポジトリコンテンツ種別

2009.10.1現在

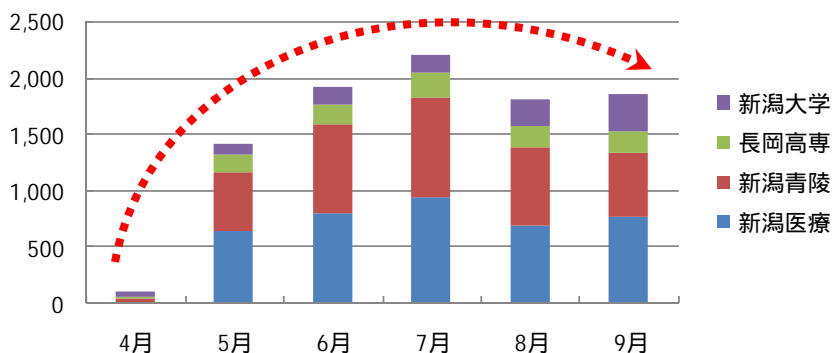


NiRR利用統計

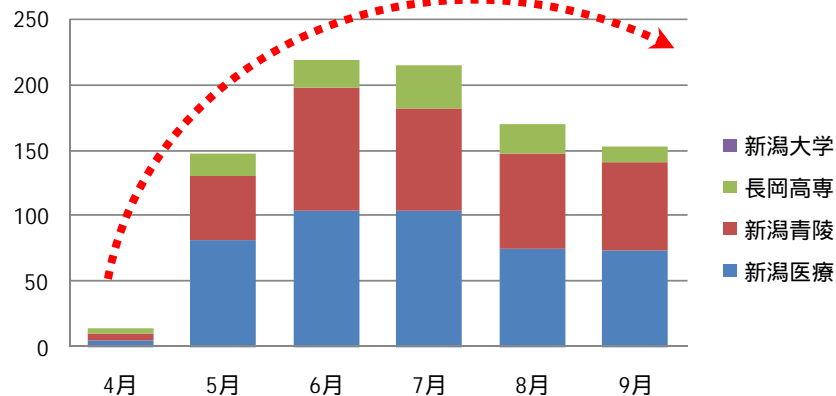
NiRRへのアクセス数



コンテンツアクセス数(機関別)



ダウンロード数



注) NiRR経由のため新潟大はカウントされていません。

NiRR現在の課題・そして期待すること



共同リポジトリとしてはスタート地点に立ったばかり

課題1

- ▶ 共同リポジトリ運用ガイドラインの作成
 - ▶ 運営指針、コンテンツの登録方法、担当者のスキル向上

取り組み

新潟大学にすべてを任せるのではなく、共同リポジトリ部会加盟館で検討
・2009年10月8日第2回部会を開催
・2009年11月10日県大図協研修会を部会加盟館で担当

課題2

- ▶ 参加機関の拡充とコンテンツの充実

取り組み

コンテンツ作成経費やコンテンツ登録業務を軽減することで、参加機関とコンテンツを増やす！

機関リポジトリ導入の意義と効果

IR共同に参加すること自体はできた…でも

実際の効果
はどう？

期待は大きい！

職員もモチベーションだけはUP！

効果を実感で
きるレベルに
はまだ至って
いない

IR導入の**意義** (意味・値打ち・価値) とは？

- ▶ 研究支援は図書館本来の業務であり、リポジトリにより新たな可能性を提供。
- ▶ 学内成果物の恒久的な保存と発信による説明責任の遂行(大学ブランドの力UPに貢献)

ピンチをチャンスに！

NIJによる紀要
電子化事業の
中止！

これからは
自分でCiNii
に登録しな
ければ…

同じ登録で
あればリポ
ジトリへ登
録！

CiNii連携で自動的
にCiNiiにも登録！

視認性もUP！

視認性UP！の実例

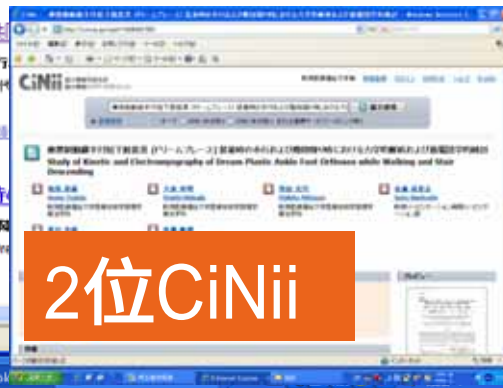
Googleで論文を検索



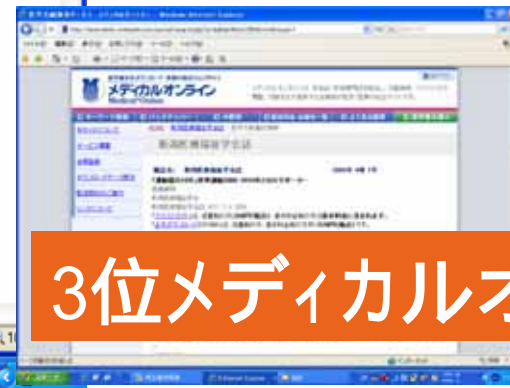
この他にも「医中誌Web」や「雑誌記事索引」といったデータベースからも検索が可能



1位NiRR



2位CiNii

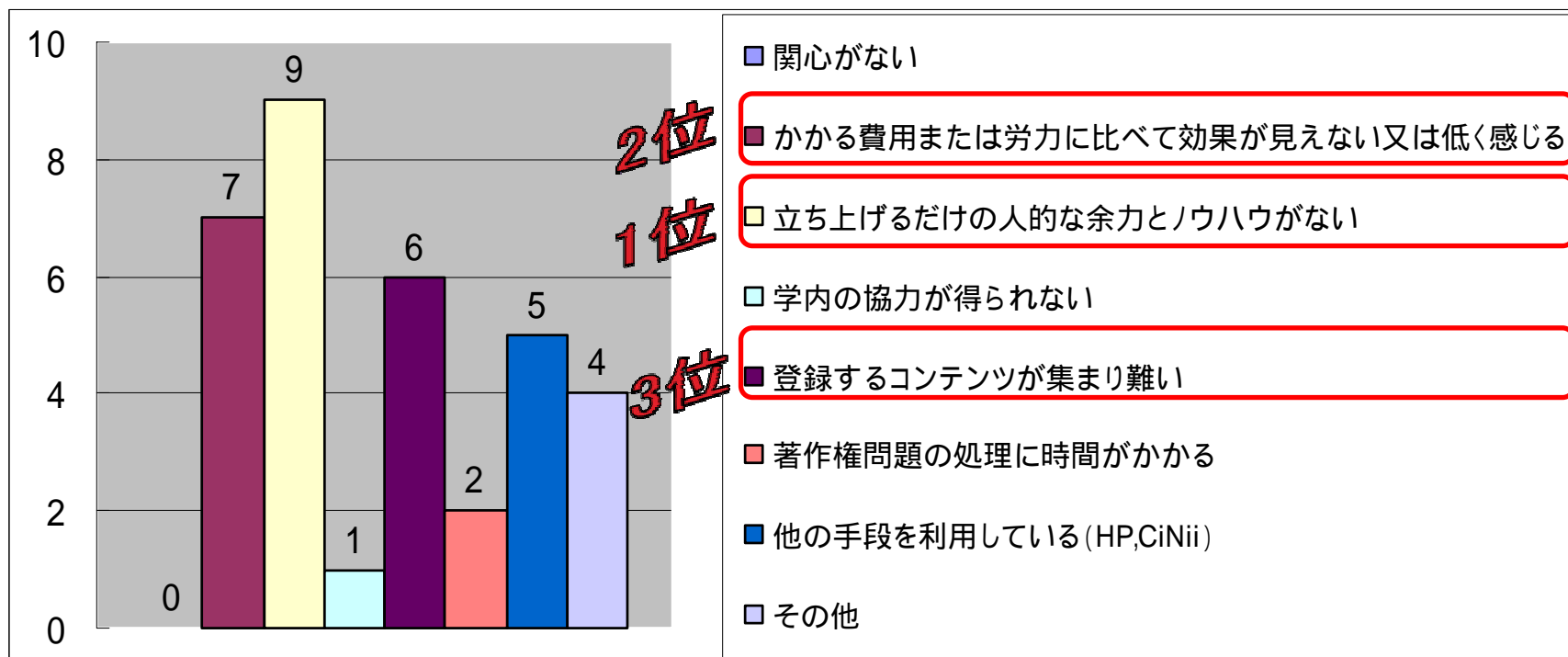


3位メディカルオンライン

それでも多くの大学で導入が進まないのはなぜ？

こんな疑問と不安があるから・・・

機関リポジトリ構築予定が無い理由(複数選択化)



(2008年7月 第14回新潟県大学図書館協議会アンケートから)

この言葉の意味するものは？

- ▶ ハーベスト
- ▶ メタデータ
- ▶ OAI-PMHプロトコル
- ▶ Junii 2
- ▶ ベースURL
- ▶ JAIRO、OAIster
- ▶ コミュニティ/コレクション
- ▶ DRF
- ▶ クロスウォーク
- ▶ SCPJ、SHERPA/RoMEO
- ▶ カバーページ
- ▶ ROAT
- ▶ Handleシステム

未知ものは怖いし、
当然不安ですね。



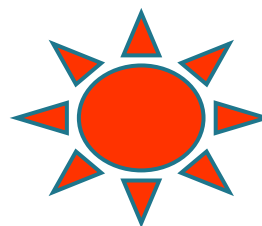
実際の声

ネガティブ
シンキング!

- ▶ サーバのメンテナンス**費用**は？
- ▶ 電子化の方法は？
- ▶ 総論賛成、メンテナンスの費用と労力が**心配**
- ▶ 著作権処理**失敗**の責任は図書館か教員か？
- ▶ コンテンツは保存年を決めて削除するのか？(サーバが**パンク**しないか？)
- ▶ IRとCiNiiは2重に登録**しなければならない**のか
- ▶ 写真やデータを扱っている関係上、肖像権とか関係してくる**大丈夫か？**
- ▶ 基本的にはどうなっていくのか**心配**
- ▶ 管理・運営に際して**費用**は発生するのか
- ▶ 電子化費用負担は各大学どれだけ**使用できる**のか？
- ▶ 著作権許諾は**誰が**担当するのか
- ▶ 共同の場合著作権処理やコンテンツは何処まで共通ルールに**制約される**？
- ▶ 画像データを乗っけることは**可能だろうか？**

しか～し、それでいいのか

ネガティブをポジティブに変える



人的余力がない

余力のあるところなどない

ノウハウがない

ノウハウはこれから身につければいい

費用がない

外部資金調達、少ない費用でできる工夫

**共同リポジトリならすぐ
に実現可能かも!?**

共同リポジトリ導入の意義と効果

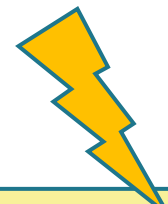
機関リポジトリ導入の障壁を除去する手段



人的余力がない

ノウハウがない

費用がない



共同で作業ができる

共同で知識・スキルを共有できる

共同で費用を分担できる

- ▶ 単独では不可能なメリットを享受できる
 - ▶ 既にリポジトリができている幸せ。データを登録するだけ。
 - ▶ 学内プロモーションをはじめ共同でリポジトリをアピール。
 - ▶ 研修や勉強会を通じて知識スキルの習得が可能。
 - ▶ メリット > デメリット

実際に私たちはこうやってNiRRで機関リポジトリを始めました！

新潟医療福祉大学の事例

大学概要

- ▶ 2001年開学、3学部8学科
- ▶ 学部学生2,571 修士52 博士22 教員157 職員45(図書館2+2)
- ▶ 医療・保健・福祉という専門分野 結構勉強する
- ▶ ICTの進歩と同調。電子コンテンツの積極的な導入
- ▶ ILLが盛ん(依頼受付とも)

コンテンツ

- ▶ 紀要なし
- ▶ 学会誌 = 著作権は学会に帰属。PDFデータの納品

学内プロモーション

- ▶ 図書館主導で既成事実を！
- ▶ 説明はする(仁義は切る)。キーワード「地域貢献」「説明責任」
 - ▶ 委員会 学長 教授会
 - ▶ 各関係委員会、学科会議、現旧図書館委員、ILLヘヴィーユーザ
- ▶ まず可能なところから一括データを登録することで実績をアピール
- ▶ 近未来の仕事を優先。過去はじっくり腰を据えて

学生数は県内私大
で最大。
全体でも新大に次
ぐ2番目。

好条件に
あったのも
事実

新潟青陵大学の事例

県内私大では最も
歴史が長く、蔵書
数も最多。

大学概要

- ▶ 1965年新潟青陵女子短期大学として開学
- ▶ 2000年新潟青陵大学開学、1学部2学科 新潟青陵大学短期大学部併設
- ▶ 学部学生894 修士26 教員72 (短大:学生785 教員31) 図書館職員(3+2)

コンテンツ

- ▶ 新潟青陵大学紀要(2008年まで)
- ▶ 新潟青陵学会誌(2009年から)
- ▶ 新潟青陵女子短期大学研究報告(2003年まで)
- ▶ 新潟青陵大学短期大学部研究報告(2004年から)

学内プロモーション

- ▶ 2003年に著作権の許諾を得て紀要を電子化しCiNiiと図書館ホームページで公開
- ▶ 図書館長がリポジトリを好意的にとらえていた
- ▶ 教員はCiNiiに論文が収録されていることを重要視
- ▶ 共同リポジトリに論文が登録されるとCiNiiにも採録されるだけでなく、さらに論文が目
に他の研究者の触れることをアピール

最後に



皆さんと同様これまでの話にあるように出発点に立っている段階
(知識を得ることで、何も知らなかった事を発見しむしろ後退?)

- ▶ 皆さんへのそして自分たちへのエール
 - ▶ 新しいチャレンジ、そして展開への期待感
 - ▶ トレンドに載らない不安 > 導入の不安
 - ▶ 図書館員としてのプライド
 - ▶ 仕事のやりがいと捉えるか業務負担の増と捉えるか
 - ▶ 教員との関係強化 新たな学習支援、研究支援サービスの展開
 - ▶ ピンチをチャンスにする発想の典型として
 - ▶ 他人ごとではない、所属する機関のためになることであれば。。。という当事者意識は大事
 - ▶ 何も知らない、確証もない、だけど持っていたい「歩みを止めないイノベーション」

私たちは、勇気を出して
リポジトリの世界を少～し覗い
てみた。



新しい世界が広がっていた・・・

ShaRe

(Shared Repository
-シェア-)

国立情報学研究所学術機関リポジトリ構築連携支援事業
平成20-21年度委託事業領域2プロジェクト

業「共同リポジトリ:モデルの構築と普及」



JAIRO
Japanese Institutional Repositories Online



SHERPA
RoMEO

新潟県内大学図書館の輪が広がった！